

第 31 回榎野川河口域・干潟自然再生協議会の議題の審議結果について

1 書面開催期間

令和 4 年 3 月 7 日（月）～令和 4 年 3 月 18 日（金）

2 結果

(1) 回答数

22 委員（60 委員中）

(2) 議題

- (1) 2022 年度の年間活動計画について . . . 承認
※3月の「大浦一般廃棄物最終処分場見学・環境学習講座」の削除
- (2) 協議会委員への申込について . . . 承認
- (3) ブルーカーボンWGの設立について . . . 承認

3 議題に対して寄せられた御意見等

(1) 協議会委員への申込について

- ・中電技術コンサルタント様による応募ですが、民間企業の参入は、本協議会の趣旨である自然環境の保全と再生において、一般市民の意識づけや参加の増加にもつながることが期待されるため、賛成します。

(2) ブルーカーボンWGの設立に係る御意見等

- ・ブルーカーボンについては私は懐疑的ですが、活動を活性化するために利用できるなら反対するものではありません。山本委員にお任せいたします。
- ・ブルーカーボンWGへの参加につきましては、私が仕事の間としている博多湾での事例を活用していくことも想定されますので、その橋渡し役として助力できればと考えています。
- ・ブルーカーボンWGについては、まだまだ勉強不足ですが、参加したいと考えています。
- ・ブルーカーボンWGで、何をするのか、理解できない。
- ・ブルーカーボンWGが設立された場合の活動費の財源について、既存の募金・寄附金だけで足りるのでしょうか？

(3) その他

- ・今年度も協議会の市民委員として活動します。
- ・干潟再生の行動計画が最近尻すぼみ的と感じているので、新たな展開へのプロジェクトを望みます。

4 事務局補足

- ・ブルーカーボンについては、現状、二酸化炭素の吸収や固定などの寄与量の考え方などの課題もあり、当面、山口湾における現状把握の方法の検討や、国の情報収集を行っていきたいと考えています。